

アフリカビジネス協議会農業WG・議論用資料

農業機械化分科会報告 ～TICAD7農業関係イニシアティブの動向

2019年8月2日
国際協力機構
農村開発部

1. 農業機械化分科会での議論（まとめ）

<民間企業から出された課題>

1. 日本の農業機械の展示・実証

- ✓ 知名度アップ
- ✓ 耐久性の実証（トータルコスト）
- ✓ コメVCビジネス全体としてのショーケース化
- ✓ 日本製品も現地の仕様に合致するようなテストが必要（イノベーションラボ的な拠点が必要）

2. メンテナンス技術者の人材育成

3. 機械購入のファイナンス

4. 政策アドバイザー派遣

官民連携による事業推進

- ✓ JICAは、①政策提言、②圃場等環境整備・実証の推進と対外発信、③アフリカの人材育成等で後押し
- ✓ 民間企業は、拠点等への人材派遣及び研修実施（コスト負担割合要検討）

8/2アフリカビジネス協議会農業WGに向けて主要メーカーと議論し、詳細を詰め、TICAD7での打ち出しを目指す（JICA提案）

<具体的なプログラム：JICA案>

<日本>

<提案1> 民間連携研修（新規）

- ✓ 日本製品の優位性を理解してもらうため、政府幹部・ディーラー・農民組織代表の日本招へい（民間企業とコストシェア）

<拠点国>

Japan-Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology (JAFICAT)

<提案2> 日・アフリカ農業イノベーションセンター（新規）

目的：既存技術協力の拠点（タンザニア・キリマンジャロ農業開発センター等）を活用し、デモ地区で農業機械化によるコメビジネス全体の展示・実証・人材育成の拠点を設置。

活動内容：

- ① 広域政策アドバイザー派遣（各国に政策提言・メーカーとの調整）
- ② 民間企業との協力による製品等の展示・実証（デモ地区農民に貸出）
- ③ 機械化のためのデモ地区圃場整備（農道、均平化：～50ha）
- ④ 収穫後処理施設～輸送の近代化推進（地元企業に貸出）
- ⑤ イノベーションラボ化（メーカー・研究機関の試験の場の提供）
- ⑥ トータルコスト検証・対外発信
- ⑦ アフリカ諸国に対する人材育成拠点（政策、メンテナンス）

<重点国>（ポテンシャルのある数か国を選定）

<提案3> 民間連携展示（既存プロジェクトに活動追加）

- ✓ JICAプロジェクトサイト（試験場又は優良地区）に日本製品の実機展示・活用（購入・メンテナンスは民間企業と要相談）
- ✓ 農業祭などでプレイアアップ、ディーラー研修の場

<提案4> 農業機械購入資金ローン（JICA/TSL又はAfDB/EBSA）

SDGs Goal 2 達成に向けた民間主導の日アフリカの農業分野の革新的な取り組み

1. FVC構築のためのデジタルプラットフォーム

E-Agri System（仮称）

- ★電子取引等を通じた共同購入・共同出荷
- ★農家への信用供与（金融機関連携）
- 手数料・広告収入による独立採算ビジネス

Software

TICAD8までに、モデル国（1～2か国；多くの日本企業が参加可能な国）において、官民が協力し事業開始。

(1) 電子プラットフォーム（決済・取引システム）構築

(2) 様々な業種の参画

- ①種子・肥料等農業資材
 - ②農民金融・農業保険
 - ③トラクター・コンバイン（uberシステム）
 - ④小型機械（販売）
 - ⑤仲買人・流通業者
 - ⑥運送（コールドチェーン、Uberなど試行）
 - ⑦
- 日本企業に限らず幅広い民間企業の参入を促進（デファクトスタンダード化）

農業機械に限定せずに
今後企業に呼びかけ

(1) 政府・農民組織のキャパビル支援（SHEP等技術協力）

(2) バリューチェーン構築支援（CARDほか技術協力）

(3) 民間企業に対する支援（ビジネス化調査＋投融資）

(4) デジタルPFの行政サービスへの応用（技術協力）

民間企業

ODA支援

2. 革新的農業技術・農業機械導入

Japan-Africa Field Innovation Center for

Agricultural Technology (JAFICAT)

- ★拠点周辺農家・企業でのデモ・実証活動
- ★新たな技術トライアル・人材育成
- ODAで整備された拠点を活用した民間活動

Hardware

TICAD8までに、拠点（タンザニア？）＋サテライトにおいて、官民が協力し事業を開始（2022年拠点におけるフォーラム開催）

(1) 様々な企業の参画

- ①トラクター・コンバイン（uberシステム試行）
 - ②乾燥機・精米機・貯蔵後（高性能機の民間貸出し試行）
 - ③小型機械
 - ④食品加工機材
 - ⑤運送（コールドチェーン、Uber型トラックなど試行）
 - ⑥資材・技術関係
- 民間企業の持ち込みによるデモ・実証試験

(2) 上記デモ・試験結果を製品にフィードバック

(3) Innovation Forumの開催（AGRAとの連携）

(1) 各国政府・民間への助言（政策アドバイザー派遣）

(2) 高水準の灌漑施設（農道・均平化）のモデル整備（無償）

(3) 途上国の人材育成・情報発信（CARD2等技術協力）

(4) 民間企業に対する支援

- ①シニア・若手人材派遣（民間連携ボランティア）
- ②デモ・試験の一部支援（技術協力）

< 添付資料 >

資料 3 - 1 : 農業機械化分科会

資料 3 - 2 : アフリカFVC分科会

資料 3 - 3 : CARD2イニシアティブ

資料 3 - 4 : SHEP

資料 3 - 5 : IFNA